



防災スクール 1・2学年

6日(木)午後、高校生防災スクールを実施しました。授業中に緊急地震速報が出されたという想定で、今回の避難場所に設定した体育館に避難し、県危機管理局からの「地震・津波についての基礎講座」を受講した。その後、1学年は生徒ホールに移動し、アルファー米炊き出し訓練及び新聞紙での簡易トイレ作りを行った。2学年は、地震体験車での地震体験を予定して



いたが、雨天のため、体育館で1「L字金具を用いた家具固定講座」を受講した。生徒の感想には、「災害に遭ったときに正しい判断ができるよう知識を身につけたい」等の記述が多く見られた。災害の恐ろしさを知るとともに防災意識を高めることができました。



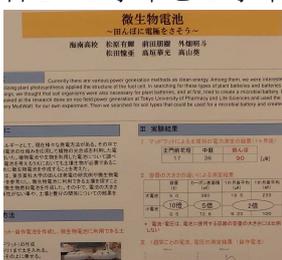
いたが、雨天のため、体育館で1「L字金具を用いた家具固定講座」を受講した。生徒の感想には、「災害に遭ったときに正しい判断ができるよう知識を身につけたい」等の記述が多く見られた。災害の恐ろしさを知るとともに防災意識を高めることができました。

高等学校生徒科学研究発表会 科学部が最優秀賞受賞



13日(木)、県民文化会館大ホールで県内の理数系学科の高校生が集まり、それぞれが取り組んでいる課題研究を発表しました。本校からは教養理学科1・2学年と2学年

の普通科理系生徒が参加し、各グループの研究を発表しました。その中で本校科学部の「アオバズクは何してる?」が最優秀賞を受賞しました。またポスターセッションの部では、SITP(課題研究)生物班の「微生物電池-田んぼから発電-」和歌山大学協働教育センター賞」を獲得しました。なお今年度は



は『世界津波の日』2018高校生サミットin和歌山」出場校による英語でのポスターセッションも行われ、本校からもESSの3名の生徒が参加しました。



ンも行われ、本校からもESSの3名の生徒が参加しました。

日本学生科学賞中央審査で 宗 尚輝さん 入選2等受賞

日本学生科学賞で県内一席の知事賞に選ばれた教養理学科1年生 宗 尚輝(むね なおき)さんの「アオバズクは何してる?」が中央審査を経て24日、東京日本科学未来館において日本学生科学賞入選2等を受賞しました。中学校時代からのアオバズク(フクロウの一種)の研究と蓄積された調査データが高く評価されました。



「税の作文」4名が入賞

10日(月)、海南税務署長が来校し「税の作文」入賞者への表彰が行われました。1学年の三枝那有さんが「県租税教育推進連絡協議会長賞」、山縣広大さんが「県知事賞」、須川七星が「海南税務署長賞」、西馬つぐみさんが「海南海草租税教育推進連絡協議会長賞」を受賞しました。本校では、1学年の夏季休業中の課題として取り組み、税制への理解を深めています。



1月の予定

- 3日 集中学習(～6日)
- 8日 始業式
宿題考査(～9日)
- 10日 3学年学年末考査(～11日)
- 11日 2・3学年生活指導アゼンブリー
- 15日 遊歩道交通指導(2学年)
1学年生活指導アゼンブリー
- 19日 センター試験(～20日)
- 21日 服装身だしなみ週間(～25日)
- 29日 2学年進路サポート
- 31日 マラソン大会予備日